

## 会長就任挨拶

大日本小林裕和合気道振興機構 会長 渡邊祥正

ここに、フランス合気道アカデミー国際合気道研修會小林裕和流の日本本部設立にあたり、ご挨拶を申し上げます。予てより、創立四十周年の節目の契機に新たな歩みをはじめするため、日本本部の設立準備をすすめてまいりました。各国から、ご列席いただきました師範会の先生方、ご来賓の皆様、日本へようこそ、ようこそ京都へ。心から歓迎申し上げます。

このたび総本部の決議により、日本本部「大日本小林裕和合気道振興機構」の設立が承認されまして、コニャル・アンドレ総裁閣下をはじめ、師範会の理事役員、諸先輩諸氏のご推挙を賜り、会長職を拝命いたしました渡邊祥正と申します。

国際合気道研修會は、小林裕和師範の提唱により 1998 年 1 月に創立されました。その建学の思想は、かつて小林師範が我が国、古来の各流各派の精髓を取り入れ、独自の精神哲学により確立された合気道の開祖植芝盛平師範の影響を受け、人生に不屈の力を与える武道、世界平和に貢献する伝達手段としての武道、それらを通じての人格形成に基づく、人創り。世界観を養い、豊かな人生を生き、民主主義の未来に責任を持ちうる人材の育成を図るため、その信条は、本会の建学の精神に述べられています。コニャル師範は、小林師範の卓越した合気道の技術と精神を受け継ぎ、守り継ぎ、積極的な国際活動によって、多くの指導者を育成し、国際的な普及発展に寄与してまいりました。諸外国の方々は、「日本の戦後の目覚しい復興の背景に日本の伝統的運動文化である武道の精神的要素がある」と捉えて、「日本古来の武士道精神が日本人の勤勉さ、困難に耐えうる精神力を涵養し、広く武道として日本人の社会に浸透し、戦後日本の復興に大きく貢献した」と述べています。現代社会は、価値観がますます多様化し、国や地域、流儀流派の垣根をこえた国際化が進む一方で、地域紛争や民族や宗教の対立が続いています。このような時代に、本会が実践している「正義」と「平和」からなる「武道の精神」を基調とした活動が異なる文化や文明をもつ人々に共通の価値観を形成し、相互が理解しあえる場を創造することから、国際社会から求められています。まさに「武道で社会を豊かにする」ことこそが、本会の使命と考えます。このような小林師範の武道に対する思いが国際合気道研修會の創設の源です。小林師範の技術、技法、技能は、特殊で精神運動の発達手段として、その有効性が証明されています。植芝師範の「体術」「剣術」「杖術」の教えは、戦後の日本において、体術中心の教えとなり、合気道の原形の武器術そのものが失われる状況にあります。しかしながら、その教えはしっかりと小林師範によって受け継ぎ、守り継がれ、海を渡り、コニャル師範によって大切に継承され、小林裕和流合気道として世界中に広がり、愛されています。小林師範が目指した合気道の価値と教えを保存・継承・研究し、失われつつある合気道の原形の技術の伝承と再発展を目的としています。

我々は、日本国内の既存の組織と競合するものではありません。

本会は、本年創立四十二周年を迎える運びとなりました。この間、大過なく発展してまいりましたのも偏に長年にわたる皆様方のご支援ご厚情のおかげと心より御礼申し上げます。

す。本会の更なる発展と現役強化に向け、一層努力いたす所存でございますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げ、会長就任の挨拶とさせていただきます。

2024年9月22日